

家事も
育児も
みんな
で協力



男女共同参画社会の実現には、女性の社会進出を推進するだけでなく、家族一人ひとりの意識・行動も重要です。

皆さんも「仕事」と「家庭」の両立について、もう一度考えてみませんか。

【問】人権・男女共同参画室(総和庁舎)

☎92-3111

ネーブルパークで、休日に子どもと過ごしているパパたちに、子育てや家事について聞きました。



【^{やがわ}箭川大和さん・^{あきと}朗翔くん・^{ひろと}大翔くん】

Q.どんなときに喜びを感じますか？

A.笑っている顔、泣いている顔など喜怒哀楽や初めての行動を見たとき。

Q.協力している育児・家事は？

A.父親として、日々無力だなあと感じていますが、少しでもママの役に立てるように頑張っています。

【^{はるな}梅山健大さん・^{はるな}陽菜ちゃん】

Q.どんなときに喜びを感じますか？

A.「パパ」と呼びながら走ってくる子どもの笑顔を見たとき。

Q.協力している育児・家事は？

A.おむつ交換とお風呂掃除。



【^{あやか}大里拓也さん・^{あやか}彩夏ちゃん】

Q.どんなときに喜びを感じますか？

A.仕事から帰ると、「おかえり」と玄関に迎えにきてくれるとき。

Q.協力している育児・家事は？

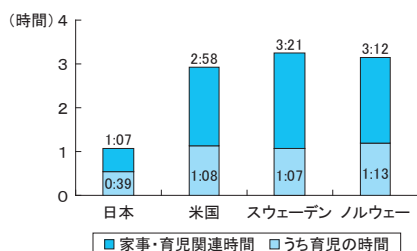
A.食器洗い、お風呂掃除など。



ママからのひとこと

- ・お互いを理解しようとする心が大切だと思う。
- ・困っているときは、夫婦で助け合いが必要だと思う。
- ・パパが朝ごはんを作ってくれとうれしい。
- ・ママの時間を作ってくれとうれしい。
- ・掃除、洗濯、食器洗いなどをしてくれるとうれしい。

【6歳未満の子どもがいる男性の家事・育児関連時間の国際比較】



6歳未満の子どもがいる男性の家事・育児関連時間は、他国と比較して、低水準となっています。

特に30歳～40歳代の男性の長時間労働は顕著で、男性の家庭生活への参画を困難にしています。

出典：平成28年版 男女共同参画白書より抜粋